

開設の目的・概要 等			
<p>アフレスシとは、血液を体外に導出し病原物質を除去した後に患者に戻す血液浄化技術の一種であり適用できる疾患は広いが、希少疾患に対するエビデンスが確立されていないため未だ適用できていない難病や難治性疾患が存在する。アフレスシ治療の適用拡大を目指し、a) 治療デバイスの適用拡大のためのエビデンス確立（患者血液から除去される病原物質の詳細データの確立） b) 新たな対象疾患への病原物質除去技術の開発 c) デバイスの治療効果をより高める、あるいは患者の負担を軽減する治療条件を確立させる といった3点を本講座設立の目的とした。旭化成メディカル（株）はこの分野での世界的リーディングカンパニーであるとともにアフレスシ治療製品開発の高いノウハウをもっており、本学のライフサイエンスにおける高い研究能力、臨床の知見と協力・融合させることで、新たな治療技術の開発やアフレスシ治療の適用拡大を進めることが期待された。</p>			
区分	番号	発表者名,発表タイトル（題目・演題・課題等）,学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	高辻 諒, 全身性エリテマトーデス患者の血清I型インターフェロン誘導活性に対する二重膜濾過血漿交換療法の影響, 第43回日本アフレスシ学会学術大会, 金沢, 2022年11月12日	